

令和4年度 第3回 稲敷市外部評価委員会

発言者	発言内容
-----	------

(10) -1 給食費見直し検討(給食費一部無償化) (学務管理課) 「拡充」

①質疑応答

委員	給食費について今後センター方式に統一していくという話をどこかで聞いた記憶がありますが、それについてのコンセンサスは既に得られているのでしょうか。それともこれから得ていくというお考えなのでしょうか。
学務管理課	2つある給食センターの統合については教育政策課の方で検討しています。現在は桜川中学校だけが自校式でやっていますが、まだ確定的な話も上がってないので、話はしておりません。
委員	自校式の方が安いという話を聞きましたが、トータルで考えるとセンター方式のほうがいいのですか。
学務管理課	大きな事務として、栄養士が献立を考えるとこのを、江戸崎給食センターで桜川中学校の分もやっけて、人件費を江戸崎と桜川で分けるのが難しいですが、あくまでも予算の決算から見ると安くなっているように見える状況です。
委員	わかりました。少子化対策事業全体の話として、色々な事業を組み込んでいますが、しっかり内容を見て、スクラップアンドビルドをして、給食費無償化を前向きに進めたいかがか、という思いを持っています。なぜかという、やはり給食費は全員が払ってくれないと、食材は高くなりますし、材料費を切り詰めたり、思った通りの材料が使えなくなったりします。全員がきちっと払ってくればいいけれど、払わない家庭も出てきてしまうなら、いっそのこと完全無償化にしたほうが、ちゃんとしたものを食べられるし、公平の原則から言ってもその方がいいと思います。少子化対策にもなる前提で、そういうことを考えていただきたいと思っています。その分の経費は、他のスクラップした部分で生み出して、トータルでは足が出ないようにするのが前提と考えていますが、その辺についてはいかがですか。
学務管理課	今の生徒数で全額無償化にした場合というのは年間約1億1,000万円かかります。スクラップアンドビルドで1億1,000万円生み出すのは不可能に近いと個人的には思います。先程おっしゃっていた給食費が集まらない場合は、稲敷市は一般会計の賄い材料費で予算を計上しており、そちらか

	<p>ら歳出はできるので、滞納者が多いから給食が悪くなるということはないと考えています。</p>
委員	<p>それは、現在は一般財源から出しているから悪くなっていないだけで、歳入が少なくなっていけば悪くなっていくと思います。</p> <p>費用は1億1,000万円が、すでに一部無償化に取り組んでいる費用を差し引いた額になると思いますが、それにしても費用に驚きました。</p>
委員	<p>何人分になるのですか。</p>
学務管理課	<p>小学校が1,357名、中学校が811名です。</p>
委員	<p>一人当たりの給食費はいくらですか。</p>
学務管理課	<p>月額で小学生が3,667円、中学生が3,887円です。</p>
委員	<p>給食事業自体は、総材料費が1億円かかるという話だと思うのですが、この事業自体の現在は「給食費見直し検討（給食費一部無償化）」なのだから一部分なのですよ。この事務事業の事業費は何に使われているのですか。</p>
学務管理課	<p>こちらの事業の方に掲載させていただいているのは、米飯の無償化と多子世帯向けの第二子1/2免除、第三子以降全額免除というのを今年から始めているものです。</p>
委員	<p>事業の話からは逸脱しますが、稲敷産米を使えていないのですよね。</p>
学務管理課	<p>学校給食会にお願いをして、現在は全農から稲敷の米が提供されています。</p> <p>ただ、仲介のような形がワンクッション入ってしまうのはどうなのか、という話も当然あるので、農家から直接稲敷の米を納入できないかという検討をしています。</p>
学務管理課	<p>今後、給食センターを作るのであればご飯を炊く設備を作って、稲敷の米を炊くことができるようになれば、という話をしています。</p>
委員	<p>市内の農産物を直接使えるといいと思いますが、実際はなかなか難しいと聞いています。米もある程度入っていると思いますが、これだけ米どころであるのに、全農から入ってくるという不思議なルートになっているのですよね。そういったところでコストを抑えて無償化に向けていけたらいいと思いますが、1億円というのは大きいですね。</p>
委員長	<p>1億1,000万円というのは頑張っている金額だと思います。ある市は今年から完全無償化していますが、8,300万円かかっています。子どもの数</p>

	は稲敷の 2/3 であることを考えると、1 億 1,000 万円なら妥当な金額で、それ以上の圧縮は難しいと思います。
委員	既に取り組んでいる第二子、第三子の補助にかかっている 2,000 万円近くの経費分は吸収すると思いますが。
委員長	他に無償化している自治体は町が多く、子どもが少ないところばかりです。ある大きな市は絶対無理という話を聞いています。
委員	細々した少子化対策ではなくて、ドンと目に見える形の方が分かり易くてすごく訴えられるのではないかと思います。
委員	そもそも給食費は、受益者負担でやる事業ですよ。
委員	未納分の給食費回収は難しいのですか。
委員	税金と取り扱いが同じではないので回収はなかなか難しいのではないのですか。
委員	未納率はどれ位でしょうか。
学務管理課	手持ちの資料にパーセントは出ていないのですが、平成 15 年度から未納分が残っており、江戸崎地区分だけで 550 万円になります。
委員	不納欠損しているものもあると思うので、実際はもっと多いと思いますが。
委員	担当課評価では市民満足度が「概ね満足されていると思われる」とありますが、給食の市民満足度の「概ね満足されていると思われる」の市民はどのような想定ですか。例えば給食を払っている親なのか、食べている子どもなのか、農業関係の人が食糧を供給しているという観点なのか、一般市民なのか、どのような想定でしょうか。
学務管理課	今回は給食の一部無償化ということで学務管理課が出席させていただいたのですが、給食全体の評価となると給食センターで評価しているので、私の方ではお答えできないところです。
委員	給食は色々な評価基準があると思うので、例えば、栄養の観点、コストの観点とか、何かの指標があるといいかと思います。手続きが複雑であれば難しいかもしれないですが。
委員	給食に関するアンケートはとっているのですか。美味しいとか、こうしてほしいとか。それも給食センターで担当ですか。
学務管理課	給食センターが担当しています。

事務局	センターの方に、それほどクレームが無いような状況で、総合的な評価で判断しているということになるのだろうと思います。
-----	---

②議論

③評価判定

委員長	給食費見直しについては全員「拡充」でよろしいですか。
委員一同	異議なし。
	<p>→<u>拡充</u></p> <p><u>付帯意見</u></p> <p>・徐々に無償化の対象を増やすとともに予算の確保にも努めていただきたい。</p>

(10) -2 ピカピカ1年生応援商品券交付事業(R3 事業名)

(こども支援課) 「現状維持」

①質疑応答

委員	私は「縮小」にしたのですが、バラマキの印象があります。少子化の中で、どれくらい子どものためになっているのか、使い道を追うことは難しいと思いますが、ランドセルを買っているのか、食費に消えているのか追跡ができればと思います。
委員	それは追跡できると思います。商工会が窓口になっているので、商品券がどこのお店での買い物で使われるのか、統計が簡単に取れると思います。
委員	本当なら子ども向けのものしか買えない商品券にしてもらえると分かり易いですが、子どもものは自分で買って、その代わり一般の食費に商品券を使いました、という使い方もできるようになっているはずですが、それでいいのか、という話はあると思います。
委員	ピカピカ1年生応援商品券交付事業はいつから始まったのでしょうか。
こども支援課	令和2年度からです。
委員	コロナの予算と関係があるのでしょうか。なぜ突然始まったのですか。
事務局	たしか市長マニフェストにあったのではないかと思います。令和元年に制度設計をして、令和2年からだったと思います。
委員長	利用率98%ということは、2%は貰っても使わなかったのですね。
委員	所得に関係なく、一律ですね。

こども支援課	はい。2万円です。先ほどお話にあった、どこで使われているかという話ですが、使っているお店から推測すると、学校指定の体操服などを取り扱っている洋品店が金額的に一番大きくなっています。
委員	昔からある洋品店に、それで貢献してくれるといいですね。
委員	指定体操服が要るのかという別の問題はありますが。普通の市販品で、指定でなくてもいいのではないか、という議論もあります。
委員	飲食店で使ったというのがありますか。
委員	飲食関係だと、金額的には低くなってきます。スーパー、ディスカウントストアなどで使われています。
委員	食費が多いと思ったのですが、そうでもないんですね。
委員	予算に対する金額の割合が系列ごとに分かると把握できますね。
委員	商品券を渡す際には、「主にこういう用途に使ってください」と言ったようなフレーズは入っているのですか。
こども支援課	そこまでは入っていません。目的としては入学祝と、保護者の経済的負担を軽減することがあります。あとは地元商店の地域の活性化につながればという点もあります。
委員	活性化はメインではないので、そちらを考えすぎると事業自体がおかしくなってしまいます。
委員	お祝いしたいということなのでしょう。予算はどのくらいですか。
こども支援課	令和3年度で716万5,000円。実際には、最初の導入時期は、人数的に把握が難しかったものですから少し多めになっており、決算では471万5,870円でした。
委員長	この執行率の低さは人数の問題ですか。
こども支援課	それが一番大きいです。
委員	マニフェストであれば、それを市民の方が支持されているのであれば、それはそれで、というところもあると思います。

②議論

③評価判定

委員長	縮小の評価をされていた委員はどうお考えですか。
委員	現状維持でよいと思います。
委員長	では現状維持という形にさせていただきます。

委員一同	異議なし。
	→ <u>現状維持</u>